

符 号 場 所 数 量	① AE 玄関ホール	B3棟 2F 合計 11	② AE デイルーム	B3棟 2F 合計 22	③ AE 個室(1)	B3棟 2F 合計 11	④ AE 浴室	B3棟 2F 合計 11
形 状 寸 法		ガラス厚さ 厚8		ガラス厚さ 厚5、厚6		ガラス厚さ 厚6		ガラス厚さ 厚6
形状・見込	アルミ 製片引き戸		滑り出し 欄間付きアルミ 引違い戸	70mm	アルミ 滑り出し 窓	70mm	アルミ 3枚片引き戸 (YKK: かんたんド アリモ 浴室ドア同等品)	80mm
仕 上	アルマイト 処理		アルマイト 処理		アルマイト 処理		アルミ 押し出し 形材	
ガ ラ ス	フロート 板ガラス (透明)		フロート 板ガラス (透明)		フロート 板ガラス (透明)		パネル: 樹脂板 (半透明)	
付 属 金 物	ドア棒ハンドル、本締錠		クレセント (補助ロック付) 排煙オペレーター		クレセント (補助ロック付)、開口制限ストッパー		附属金物一式	
備 考	衝突防止シール、下枠ステンレス、キックプレート SUS (H300)		アルミ 水切、可動アルミ 網戸、木製額縁		アルミ 水切、可動アルミ 網戸、木製額縁			

符 号 場 所 数 量	① AW 事務室、地域交流室 個室(2)~(6)、予備室	B3棟 2F 合計 99	③ AW キッチン	B3棟 2F 合計 11	④ AW WC (1)、WC (2)、WC (3)	B3棟 2F 合計 33	⑤ AW 洗濯コーナー	B3棟 2F 合計 11	⑥ AW 浴室	B3棟 2F 合計 11	④ SSD 高齢者施設付近 MB・PS	B3棟 2F 合計 22
形 状 寸 法		ガラス厚さ 厚5		ガラス厚さ 厚6		ガラス厚さ 厚6		ガラス厚さ 厚6		ガラス厚さ 厚6		ガラス厚さ 厚6
形状・見込	アルミ 引違い窓	70mm	アルミ 引違い窓	70mm	アルミ 滑り出し 窓	70mm	アルミ 滑り出し 窓	70mm	アルミ 滑り出し 窓	70mm	ステンレス片開き戸 (SUS304)	33mm
仕 上	アルマイト 処理		アルマイト 処理		アルマイト 処理		アルマイト 処理		アルマイト 処理		ステンレス焼付塗装仕上 (両面)	
ガ ラ ス	フロート 板ガラス (透明)		ア) 6.0型板ガラス		ア) 6.0型板ガラス		ア) 6.0型板ガラス		ア) 6.0型板ガラス		ケースハンドル ステンレス丁番・煽り止めチェーン 戸当りゴム・気密材	
付 属 金 物	クレセント (補助ロック付)、開口制限ストッパー		クレセント (補助ロック付)		カムラッチハンドル		カムラッチハンドル		カムラッチハンドル		枠: ステンレス	
備 考	アルミ 水切、アルミ 面格子 (3ヶ所)、可動アルミ 網戸、木製額縁		アルミ 水切、アルミ 面格子、可動アルミ 網戸、木製額縁		アルミ 水切、可動アルミ 網戸、アルミ 面格子、木製額縁		アルミ 水切、可動アルミ 網戸、アルミ 面格子、アルミ 額縁		アルミ 水切、可動アルミ 網戸、アルミ 面格子、アルミ 額縁			

符 号 場 所 数 量	① AD 洗濯コーナー	B3棟 2F 合計 11	② AD 発電機置場	B3棟 2F 合計 11
形 状 寸 法				
形状・見込	アルミフラッシュドア	70mm	アルミフラッシュドア	70mm
仕 上	アルマイト 処理		アルマイト 処理	
ガ ラ ス				
付 属 金 物	レバーハンドル、本締錠、ドアクローザー、SUS丁番 (3枚吊り) 戸当り		レバーハンドル、本締錠、ドアクローザー、SUS丁番 (3枚吊り) 戸当り	
備 考	アルミ 水切、アルミ 額縁		アルミ 水切、アルミ 額縁	

- 特記事項
- ・ 本表の寸法は基準を表したもので、施工に際しては現場寸法を測定して、正確に納めること、

・ 本表に記載してある建具は全て施工図を提出し、係員の承諾を得た後に製作・施工のこと。

・ 本工事に使用する材料、金物類は全て見本品を提出して係員の承諾を得ること。

・ サッシは強度計算書を提出し、係員の承諾を得ること。

・ ガラスは強度計算書及び見本品を提出し、係員の承諾を得ること。

・ 本工事で疑義がある場合は、係員と打合せの上工事の進行を図ること。

・ 建具の性能は、耐風圧S-6 (2,800Pa)、気密A-4 (2等級線)、水密W-5以上、性能を有することを証明する資料を係員に提出して承諾を受けること。

・ アルミサッシの水密は等圧方式とする。

・ アルミ窓サッシは内具取外し方式とする。

・ 連窓の方立は、耐風補強型とする。

・ サッシの高さが1mを超える窓には、クレセントを2箇所取付けること。

・ クレセントの取付位置は、車イス利用者を配慮し、承認図作成時に監督員の指示を得ること。

・ 段窓無目及びその接点は、上段サッシ、ガラス等の長期荷重に十分耐え得る構造とすること。

・ 建具周囲に額縁が取付く場合、取付用アルミアングルを設けること。

・ アルミニウムに接する小ねじ等の材質は、ステンレスとする。

・ アルミニウム材がモルタル、コンクリートに接する部分には、絶縁塗装処理を施すこと。

・ 建具周囲に充填するモルタルの割合 (容積比) は、セメント1: 砂3を標準とする。

・ また、充填モルタルに使用する防水剤は、塩化物を主成分とするものを用いないこと。

・ 充填モルタルに用いる砂の塩分含有量は、NaCl換算で0.02% (質量比) 以下とする。

・ サッシアンカーは防錆処理を施す。

・ サッシ廻りのシーリングは、原則仕上げ・塗装なしの場合MS-2又はPS-2、仕上げ・塗装ありの場合はPU-2とする。

・ また、実際の適用にはシーリング材製造業者に問い合わせを行い、適合性、施工性等を十分検討する。

・ 異種シーリング材が接する場合には、係員と協議すること。

・ ガラス止めは原則シーリング材SR-1を使用すること。

・ 防火設備用のガラス止めは指定のシーリング材を使用すること。

・ 6.8mm網入ガラスカ所は、全て耐火シーリング使用とする。

・ 編入ガラスの小口には、ガラス用防錆塗装又は防錆テープを用いて防錆塗装を行うこと。

・ 外部に面する網入りガラス編入りガラスを用いる下端ガラス溝には、径6mm以上の水抜き孔を2箇所以上設けること。

・ また、セッティングブロックによるせき止めがある場合には、セッティングブロックの中間1箇所追加する。

・ 引違い戸サッシは、全可動式網戸が取り付けられる網戸レール一体化とする。

・ 建具金物の取付け部分は、ビス止め用裏板補強を行うこと。

・ ドアクローザーの取付けは、ステンレス通しボルトとし、当て板SUS304 t.2.0とする。

※廊下、犬走り等に面する引違いアルミニウム合金製サッシは、網戸を設置する。

・ その他の引違いアルミニウム合金製サッシは、全可動式網戸が取り付けられる構造とする。
-